



HEIWA PAPER

## 2019年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)



2019年2月13日

上場会社名 平和紙業株式会社

上場取引所 東

コード番号 9929 URL <http://www.heiwapaper.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 清家 義雄

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理統括本部長 (氏名) 高木 修

TEL 03-3206-8501

四半期報告書提出予定日 2019年2月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2019年3月期第3四半期の連結業績(2018年4月1日～2018年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第3四半期	14,266	1.6	155	34.4	226	18.0	148	18.2
2018年3月期第3四半期	14,040	2.5	115	18.5	192	3.0	125	1.7

(注) 包括利益 2019年3月期第3四半期 71百万円 (70.1%) 2018年3月期第3四半期 239百万円 (14.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第3四半期	15.38	
2018年3月期第3四半期	12.93	

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期第3四半期	17,385	8,554	49.2	887.13
2018年3月期	17,829	8,611	48.3	886.60

(参考) 自己資本 2019年3月期第3四半期 8,554百万円 2018年3月期 8,611百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期		5.00		5.00	10.00
2019年3月期		5.00			
2019年3月期(予想)				5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,415	1.9	233	10.5	312	1.7	217	24.9	22.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期3Q	10,116,917 株	2018年3月期	10,116,917 株
期末自己株式数	2019年3月期3Q	474,099 株	2018年3月期	404,099 株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年3月期3Q	9,677,436 株	2018年3月期3Q	9,735,182 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(追加情報) .....	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、堅調な企業収益の後押しで雇用・所得環境の改善が続いており、設備投資並びに個人消費も持ち直していることから、緩やかに回復しています。

紙パルプ業界全般におきましては、段ボール原紙、パッケージ用等の板紙国内出荷量が、食品、通販等の好調な需要に支えられ前年同四半期実績を上回る一方、印刷用紙の構造的な需要減の影響を受け、洋紙全体の国内出荷量は低調で、紙・板紙合計での国内出荷量でも前年同四半期実績をわずかながら下回りました。

このような経済状況のもとで当社グループは、主力としている高付加価値の高級特殊紙であるファンシーペーパー、ファインボードの販売拡大、デザイン・クリエイティブ部門への商品提案活動、新規顧客開拓、新商材の開発及び高効率ローコストオペレーションの着実な実行に取り組みました。その結果、市場の構造的要因によるマイナス影響や自然災害の多発による一時的な需要減少の影響を受けたものの、商品区分のうちファンシーペーパー、ファインボード、ベーシックペーパー、技術紙において前年同四半期実績を上回り、全体の実績でも前年同四半期実績を上回ることができました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高142億66百万円(前年同四半期比1.6%増)、経常利益2億26百万円(同18.0%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億48百万円(同18.2%増)となりました。

<当社の商品別の概況>

当社グループは、和洋紙の販売並びにこれらの付随業務の単一セグメントであり、当社の和洋紙卸売業の売上高は連結売上高の90%超を占めるため、当社の商品別の概況を記載しております。

品目別	前第3四半期累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)		当第3四半期累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)		増減率 (%)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	
ファンシーペーパー	3,239	24.5	3,463	25.8	6.9
ファインボード	1,528	11.6	1,537	11.4	0.6
高級印刷紙	3,124	23.7	3,054	22.8	△2.2
ベーシックペーパー	3,646	27.6	3,687	27.5	1.1
技術紙	1,476	11.2	1,516	11.3	2.7
その他	188	1.4	157	1.2	△16.1
合計	13,202	100.0	13,417	100	1.6

(注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

[ファンシーペーパー]

多様な色、表面性、風合いを持つ高付加価値特殊紙のファンシーペーパーは、デザイン・クリエイティブ部門への継続的な提案活動や各種商品説明会等開催、新商品投入効果もあり、書籍や高級パッケージ用途の販売量が増加しました。東アジア向けの輸出も好調に推移し、売上高は34億63百万円、前年同四半期比6.9%の増加となりました。

[ファインボード]

ファンシーペーパーの厚物(板紙分類)であるファインボードは、高級化粧品・食品等のパッケージ向けや書籍表紙用途等が堅調に推移しました。また、商業印刷物用途も回復傾向にあり、売上高は15億37百万円、前年同四半期比0.6%の増加となりました。

[高級印刷紙]

通常の印刷用紙よりも高価格帯の高級印刷紙は、封筒・名刺等の紙製品が堅調に推移しましたが、カタログ・パンフレット等の商業印刷物や書籍用途の販売量が伸び悩み、売上高は30億54百万円、前年同四半期比2.2%の減少となりました。

[ベーシックペーパー]

上質紙、コート紙等の印刷用紙、色上質紙、包装用紙、各種板紙等のベーシックペーパーは、商業印刷物用途は減少しましたが、書籍向け及び医療・化粧品パッケージ用途等が堅調に推移し、売上高は36億87百万円、前年同四半期比1.1%の増加となりました。

[技術紙]

通常の紙にない特殊機能が付与されている技術紙は、合成紙及び各種工業品製造用工程紙が減少しましたが、耐水撥水性機能紙が好調に推移し、売上高は15億16百万円、前年同四半期比2.7%の増加となりました。

[その他]

ペーパータオル等家庭紙の販売量は若干増加しましたが、製紙関連資材や各種紙加工製品の販売量が減少し、売上高は1億57百万円、前年同四半期比16.1%の減少となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて4億43百万円減少して、173億85百万円となりました。主な要因は、電子記録債権3億37百万円が増加したものの、現金及び預金1億30百万円、受取手形及び売掛金4億74百万円、商品52百万円、投資有価証券92百万円が減少したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べて3億87百万円減少して、88億30百万円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金2億49百万円、短期借入金50百万円、賞与引当金35百万円が減少したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて56百万円減少して、85億54百万円となりました。主な要因は、利益剰余金52百万円が増加したものの、その他有価証券評価差額金1億3百万円が減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2018年5月11日の「平成30年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2019年3月期の連結業績につきましては、以下の通り見込んでおります。

売上高	19,415百万円 (前期比 1.9%増収)
営業利益	233百万円 (同 10.5%増益)
経常利益	312百万円 (同 1.7%増益)
親会社株主に帰属する当期純利益	217百万円 (同 24.9%減益)

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,010,273	2,879,768
受取手形及び売掛金	6,006,480	5,532,253
電子記録債権	1,224,554	1,562,065
商品	3,725,874	3,673,168
貯蔵品	57,235	53,579
その他	97,681	89,351
流動資産合計	14,122,100	13,790,185
固定資産		
有形固定資産	815,921	791,219
無形固定資産	19,093	19,319
投資その他の資産		
投資有価証券	2,513,730	2,420,910
その他	362,576	367,775
貸倒引当金	△4,392	△4,352
投資その他の資産合計	2,871,914	2,784,334
固定資産合計	3,706,930	3,594,872
資産合計	17,829,030	17,385,058

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,203,907	5,954,493
短期借入金	2,210,514	2,159,635
未払法人税等	20,617	47,381
賞与引当金	98,064	62,727
その他	265,869	210,548
流動負債合計	8,798,973	8,434,786
固定負債		
退職給付に係る負債	198,805	208,575
資産除去債務	64,802	65,612
その他	155,054	121,565
固定負債合計	418,662	395,754
負債合計	9,217,635	8,830,540
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,107,843	2,107,843
資本剰余金	2,331,387	2,331,387
利益剰余金	3,731,703	3,783,784
自己株式	△186,856	△218,636
株主資本合計	7,984,079	8,004,379
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	645,340	541,933
為替換算調整勘定	△18,024	8,205
その他の包括利益累計額合計	627,316	550,139
純資産合計	8,611,395	8,554,518
負債純資産合計	17,829,030	17,385,058

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
売上高	14,040,292	14,266,697
売上原価	11,424,369	11,648,667
売上総利益	2,615,922	2,618,029
販売費及び一般管理費	2,500,315	2,462,612
営業利益	115,607	155,417
営業外収益		
受取利息	1,029	2,194
受取配当金	49,143	46,007
受取賃貸料	33,063	33,093
その他	7,233	4,876
営業外収益合計	90,469	86,171
営業外費用		
支払利息	5,461	5,345
賃貸用資産減価償却費	3,733	3,328
為替差損	1,269	2,471
その他	3,278	3,513
営業外費用合計	13,742	14,659
経常利益	192,333	226,929
特別損失		
固定資産除売却損	856	965
ゴルフ会員権売却損	825	—
災害による損失	—	2,122
特別損失合計	1,681	3,088
税金等調整前四半期純利益	190,652	223,841
法人税、住民税及び事業税	49,092	67,303
法人税等調整額	15,623	7,679
法人税等合計	64,716	74,982
四半期純利益	125,936	148,858
親会社株主に帰属する四半期純利益	125,936	148,858



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
四半期純利益	125,936	148,858
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	113,552	△103,407
為替換算調整勘定	325	26,230
その他の包括利益合計	113,877	△77,177
四半期包括利益	239,813	71,681
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	239,813	71,681

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。